

# ほしいも生産の興隆と輸出の可能性

## －GI保護制度によって価値を守り海外に売るには－

茨城県 東海村 産業部 農業政策課 主任

すがわら だい き  
菅原 大樹

### 1. はじめに

ほしいもは、茨城県東海村と隣接のひたちなか市、那珂市の2市1村で国内産出額の9割を占める、この地域の伝統ある特産品である。消費者の自然食品志向の高まりの中、健康的な手軽に食べられるスイーツとして、その消費は増加傾向にある。一方で茨城県の農産物・加工食品の輸出額も近年急伸しており、2024年度には過去最高額を更新し、対前年比73%増の73億円となっている。しかしながら、輸出増加を牽引しているのは、常陸牛、米、そして焼き芋用生さつまいもであり、残念ながらほしいもはこの輸出の勢いに全く乗れていない。現在、2市1村のほしいも生産は絶対的な地位を築いているが、加工用乾燥機や全国的に栽培可能な新品種の普及により、北海道から鹿児島県まで全国各地で産地化の動きが進んでおり、この地域におけるほしいも産地としての自然立地条件面での優位性は低下しつつある。本稿は、全国町村会が主催した2025年度地域農政未来塾の第9期生として筆者が作成した研究論文を要約したものであり、東海村のほしいもの評価、そして生産者の利益を守るための方策としてGI（地理的表示）保護制度の利用や、輸出への転換について検討を試みたものである。

### 2. 東海村について

東海村は、関東平野の北東部、茨城県の県庁所在地である水戸市から北東へ約15kmの距離に位置しており、東は太平洋に面し、西が那珂市、南がひたちなか市、北は日立市に接している。村の面積3,800haに対して、耕地面積は887ha、うち田413ha、畑474haとなっている。畑での作付けは、特産品であるさつまいもが主で、作付面積は135haである。

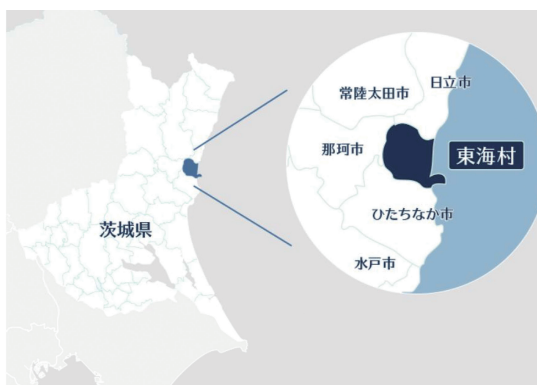


図1 東海村位置図

### 3. ほしいも生産の興隆

国内で生産されるさつまいもの用途別仕向量のうち、ほしいも用については、農林水産省が都道府県からの報告により1993年から調査を行っており、表1のとおり、過去30年ほどさかのぼることができる。表1から全国のさつまいもの総生産量の推移を

表1 ほしいも用生サツマイモの生産量

|        | さつまいも<br>総生産量<br>千t① | ほしいも用生さつまいもの生産量 t |        |        |       |       | ほしいも<br>の割合％<br>②／① | ほしいも製<br>品換算量<br>t |
|--------|----------------------|-------------------|--------|--------|-------|-------|---------------------|--------------------|
|        |                      | 全国<br>②           | 茨城     | 静岡     | 長崎    | その他   |                     |                    |
| 1993年産 | 1,033.0              | 30,284            | 26,900 | 2,650  | 10    | 724   | 2.9                 | 8,185              |
| 1994   | 1,264.0              | 32,507            | 26,000 | 5,653  | —     | 854   | 2.6                 | 8,786              |
| 1995   | 1,181.0              | 38,431            | 27,300 | 10,302 | 10    | 819   | 3.3                 | 10,387             |
| 1996   | 1,109.0              | 41,864            | 29,936 | 10,913 | 270   | 745   | 3.8                 | 11,315             |
| 1997   | 1,130.0              | 41,077            | 30,000 | 9,995  | 230   | 852   | 3.6                 | 11,102             |
| 1998   | 1,139.0              | 34,162            | 28,000 | 5,183  | 190   | 789   | 3.0                 | 9,233              |
| 1999   | 1,008.0              | 29,866            | 23,077 | 5,480  | 480   | 868   | 3.0                 | 8,072              |
| 2000   | 1,073.4              | 40,210            | 34,277 | 5,039  | 30    | 864   | 3.7                 | 10,868             |
| 2001   | 1,063.0              | 33,349            | 28,664 | 4,572  | 33    | 136   | 3.1                 | 9,013              |
| 2002   | 1,030.0              | 30,806            | 26,970 | 3,690  | 30    | 133   | 3.0                 | 8,326              |
| 2003   | 941.1                | 40,930            | 37,700 | 2,960  | 30    | 1,050 | 4.3                 | 11,062             |
| 2004   | 1,009.0              | 43,566            | 39,400 | 3,712  | —     | 1,223 | 4.3                 | 11,775             |
| 2005   | 1,053.0              | 43,336            | 38,346 | 3,832  | —     | 1,158 | 4.1                 | 11,712             |
| 2006   | 988.9                | 39,133            | 33,668 | 3,602  | —     | 2,229 | 4.0                 | 10,576             |
| 2007   | 968.4                | 41,698            | 36,230 | 3,483  | 505   | 1,607 | 4.3                 | 11,270             |
| 2008   | 1,011.0              | 44,475            | 39,297 | 3,389  | 288   | 632   | 4.4                 | 12,020             |
| 2009   | 1,026.0              | 45,708            | 39,686 | 2,625  | 1,516 | 705   | 4.5                 | 12,354             |
| 2010   | 863.6                | 38,321            | 33,014 | 2,217  | 1,500 | 1,590 | 4.4                 | 10,357             |
| 2011   | 885.9                | 45,435            | 40,141 | 2,650  | 1,418 | 1,226 | 5.1                 | 12,280             |
| 2012   | 875.9                | 39,406            | 33,959 | 2,343  | 1,574 | 1,530 | 4.5                 | 10,650             |
| 2013   | 942.3                | 45,639            | 41,840 | 2,190  | 836   | 773   | 4.8                 | 12,335             |
| 2014   | 886.5                | 8,092             | 4,285  | 2,213  | 741   | 853   | 0.9                 | 2,187              |
| 2015   | 814.2                | 8,602             | 5,112  | 1,981  | 655   | 854   | 1.1                 | 2,325              |
| 2016   | 860.7                | 21,775            | 17,629 | 2,058  | 746   | 1,342 | 2.5                 | 5,885              |
| 2017   | 807.1                | 19,779            | 16,264 | 1,969  | 388   | 1,158 | 2.5                 | 5,346              |
| 2018   | 796.5                | 35,531            | 32,023 | 1,855  | 305   | 1,348 | 4.5                 | 9,603              |
| 2019   | 748.7                | 35,506            | 32,118 | 1,818  | 251   | 1,319 | 4.7                 | 9,596              |
| 2020   | 687.6                | 36,762            | 32,028 | 1,609  | 579   | 2,546 | 5.3                 | 9,936              |
| 2021   | 671.9                | 37,447            | 33,855 | 1,637  | 211   | 1,744 | 5.6                 | 10,121             |
| 2022   | 710.7                | 33,819            | 29,281 | 1,738  | 106   | 2,694 | 4.8                 | 9,140              |
| 2023   | 715.8                | 39,032            | 34,086 | 1,546  | 116   | 3,284 | 5.5                 | 10,549             |
| 2024   | 717.0                | 39,876            | 34,694 | 1,549  | 70    | 3,563 | 5.6                 | 10,777             |

出典：小林仁他（2016）『干しいも辞典』一般財団法人いも類振興会 p.35参照

2014年～24年は、農林水産省「いも・でん粉に関する資料 都道府県報告による地域作物課調べ」より筆者追記。

2014～2017の数値は何らかの理由による異常値と推察される。

注：1. 2024年は概算値。

2. ほしいもの生いも換算率は、3.7である。

見ると、1993年の1,033千tから2024年には717千tと3割減少しているのに対して、ほしいも用は30,284tから39,876tと3割増加している。この間、農研機構から新品種「べにはるか」が2007年に発表されたが、この新品種の登場はほしいもの歴史にも大きな節目をもたらした。従来作られていた「たまゆたか」や「いずみ」に比べ柔らか

く甘く、高齢者から子供まで食べやすいことから人気を得て、この新品種がその後のほしいも需要を大きく牽引していくこととなった。

茨城県以外の数字を見ると、ほしいもの発祥地である静岡県の生産量が激減しており、長崎県においては、現在はごく限られた生産となっている。茨城県、静岡県、長

岐阜県以外のその他の生産量は堅調に増えている。表2には2014年以降の主要産地の生産動向をまとめた。

**4. 茨城県と東海村の農業政策におけるさつまいも生産の位置づけと地域協議会**  
**(1) 茨城県「茨城農業の将来ビジョン」**  
**2023年5月**

茨城県は重点品目である常陸牛や米のほか、さつまいもを儲かる農業の牽引役と位置づけ、2050年に向けて輸出を意識した産地の形成、海外での茨城ブランドの確立、JETRO等との連携による販路開拓支援を推進している。図2を見ると全国の作付面積が減少する一方で茨城県の作付面積は増えている。

**(2) 東海村「東海村農業振興計画」2015年11月**

ほしいうの原料であるさつまいもを基幹作物として位置付け、特産品の生産販売の強化により、都市近郊型農業のモデルとしての役割を担うことを目指している。後述

するひたちなか・東海・那珂ほしいうも協議会を通じて、「ほしいうも三ツ星生産者」認定制度や「ほしいうも品評会」の開催、品質の向上とブランドの確立に取り組んでいる。また、学校や企業との連携を通じて地産地消を進めている。

**(3) 地域協議会**

① ひたちなか・東海・那珂ほしいうも協議会

国内のほしいうも生産量の約9割を占める主要産地（東海村、ひたちなか市、那珂市）の生産者、自治体などで構成される組織である。1972年に発足した「茨城甘藷むし切干対策協議会」が前身であり、その歴史は50年以上に及ぶ。毎年1月には「ほしいうも品評会」を開催し、主要産地（2市1村）の生産者が、その年に生産されたほしいうの味や見た目、品質を競い合っている。

消費者に信頼されるほしいうも産地を目指して、生産履歴の記帳、衛生加工の実践、適正品質表示の3項目を充たした生産者を審査認定する「ほしいうも三ツ星生産者認証制度」を設けており、加入組合員数は501、

表2 ほしいうも用生サツマイモの生産量（その他）

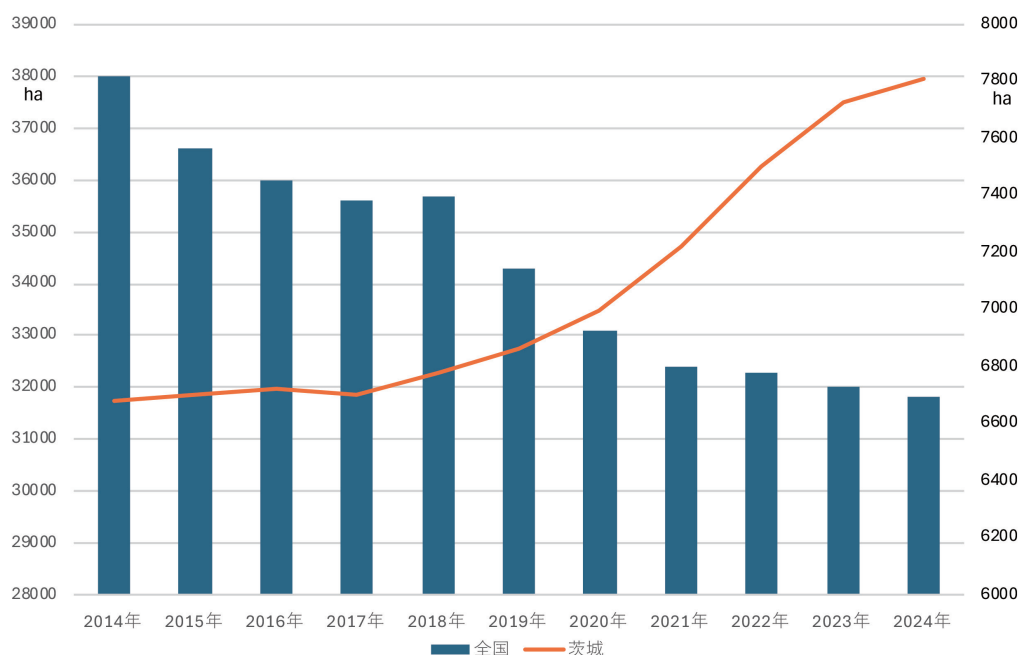
|        | 表1のその他 |      |     |      |     |     |     |     |     |     |     |      | 単位はt  |
|--------|--------|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-------|
|        | 北海道    | 宮城   | 栃木  | 群馬   | 千葉  | 富山  | 三重  | 京都  | 愛媛  | 高知  | 熊本  | 鹿児島  |       |
| 2014年産 | 853    | 86   |     |      | 261 | 150 |     | 106 |     | 155 | 31  |      | 8     |
| 2015   | 854    | 79   |     |      | 234 | 120 |     | 149 |     | 165 | 23  |      | 40    |
| 2016   | 1,342  | 100  |     |      | 231 | 144 |     | 35  |     | 175 | 23  |      | 589   |
| 2017   | 1,158  | 109  |     |      | 181 | 100 |     | 17  |     | 164 | 23  | 219  | 325   |
| 2018   | 1,348  | 126  |     |      | 179 | 116 |     | 12  |     | 161 | 21  | 217  | 496   |
| 2019   | 1,319  | 101  | 1   |      | 169 | 27  |     | 100 |     | 151 | 23  | 233  | 426   |
| 2020   | 2,546  | 90   | 4   |      | 149 | 309 | 40  | 100 | 72  | 120 | 20  | 201  | 1,730 |
| 2021   | 1,744  | 90   | 228 |      | 151 |     | 88  | 160 | 104 | 130 | 21  | 212  | 542   |
| 2022   | 2,694  | 99   | 25  | 718  | 160 |     | 48  | 140 | 128 | 120 | 22  | 43   | 1,172 |
| 2023   | 3,284  | 401  | 66  | 963  | 162 |     | 52  | 14  | 298 | 100 | 15  | 7    | 1,190 |
| 2024   | 3,563  | 418  | 66  | 965  | 161 | 17  | 52  | 133 | 214 | 100 | 15  | 1    | 1,404 |
|        | 100    | 11.7 | 0.2 | 27.1 | 4.5 | 0.5 | 1.5 | 3.7 | 6.0 | 2.8 | 0.4 | 0.03 | 39.4  |

出典：農林水産省「いも・でん粉に関する資料 都道府県報告による地域作物課調べ」より筆者作成。

注：1. 2024年は概算値。

2. 茨城県、静岡県、宮城県以外の生産量が多い道府県を抽出しており、上記12道府県の実産量を足してもその他の合計にはならない。

3. ほしいうもの生いも換算率は、3.7である。



出典：農林水産省「作物統計」より筆者作成。

図2 全国および茨城県のさつまいも作付面積の推移

事務局は、ひたちなか市農政課と那珂市農政課、東海村農業政策課である。

## ② 茨城県ほしいも協議会

2018年10月に茨城県内のほしいも生産者や関係団体によって設立され、ほしいもの販売促進、品質向上、ブランド強化を推進している。加入組合員数は84、事務局は、茨城県農林水産部産地振興課である。また茨城県は、2025年1月に第1回目となる「全国ほしいもグランプリ2025」を開催し、全国51点の中から東海村の「干し芋農園川上」が初代グランプリに選ばれた。

## 5. 東海村のほしいも生産の現状

以下、東海村のほしいもの生産量を推計する。2020年農林業センサスの東海村のさつまいもの作付面積は135haである。茨城県の2020年のさつまいもの平均単収

2,600kg/10aを利用すると、東海村のさつまいも生産量は、3,510tとなる。このほとんどはほしいも製造に仕向けられている。さらに換算率3.7でほしいも製品を推計すると、949tとなる。2020年の全国のほしいも生産量が9,936tであるため、東海村の生産量は全国生産量の約1割を占めている。

農林業センサスをみると、東海村のさつまいもの2020年の作付面積は135ha、農業経営体数98経営体であるが、2015年は111ha 138経営体、2010年は137ha 160経営体である。このように作付面積は横ばいである中で農業経営体の数は減って集約化が進んでいるが、耕作に適した土地は既に最大限利用されており、村内には他に耕作に適したほ場は残っておらず、拡大する余地がないことが課題となっている。

## 6. ほしいもGI（地理的表示）取得の提案と輸出の可能性

### （1）ほしいもGI（地理的表示）の取得の提案

2008年にふるさと納税制度が始まり、県内の各地で返礼品としても、「茨城県産」ほしいもが盛んに生産されるようになっていく。このため、東海村、ひたちなか市、那珂市地域のほしいもの品質と評価、農家、生産者の利益を守るためには、数多ある「茨城県産」ほしいもと明確に区別できるよう、この地域のほしいものの価値をさらに高める必要がある。

GI制度を利用することができれば、この地域のほしいもブランドを確立できる可能性があり、前述したひたちなか・東海・那珂ほしいも協議会は、申請者として相応しい。登録申請に際しては、生産行程管理業務規程（登録された製品の品質と特性を維持するために必要な、生産方法の遵守状況を確認、管理する方法を定めたルール）をつくる必要がある。規程では、生産手順、使用資材、記録の保管方法、不正使用時の対応、違反時の指導方法などが詳細に決められる。一方、ひたちなか・東海・那珂ほしいも協議会には、すでに「ほしいも三ツ星生産者」という認証制度があるが、この認証の枠組みは、原料のトレーサビリティ、衛生管理、品質表示を定めるだけにとどまっており、GIに登録するには、認証制度を改良することが必要となる。

なお、地理的表示の名称であるが、この際、多くの人に親しまれているような名称にすべきであろう。旧那珂郡に含まれるひたちなか市と那珂市はその行政地名に「なか」が入っており、東海村は現在も那珂郡

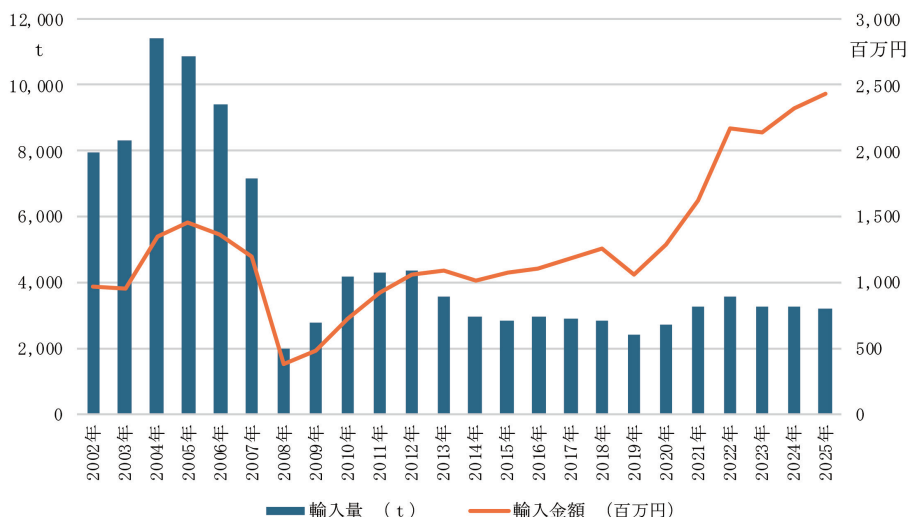
に含まれることから、地理的表示に「なか」という地名をつけることは多くの支持が得られると思われる。そのまま「なかほしいも」としてもよいが、汎用性の高い挨拶相槌で「いやどうも」という茨城の方言がある。地名の「なか」と方言の「いやどうも」を組み合わせ、「なかほしいやどうも」と命名したい。あるいは茨城の別な方言、たくさんある状態「いっぱい」を意味する「いっぺー」から、（お）なかいっぺい（食べて）ほしいとかけて、「なかいっぺーほしいも」を地理的表示の第2案としたい。

### （2）輸出の可能性

わが国のさつまいもの輸出額は、2012年の1.7億円から2024年には36億円まで急激に伸びている。いも類は、葉菜茎菜に比べて輸送耐性が高いが、加工されたほしいもはさらに輸送耐性が高く、単位重量あたりの単価も高いため、さらに輸出に向く農産加工品と言える。さつまいもの輸出額は急伸しているが、貿易統計からはほしいもの輸出額はわからないので輸入額を図3としてグラフに表した。

2024年のさつまいもの輸出額は33億円であったが、同年ほしいもを中国から23億円輸入している。中国産のほしいもが日本で一定量売れているのは、以前より高くなったとは言え、日本産に比べて安いからであろう。3,000t超、23億円ものほしいもを中国から輸入している状況からすると、国内のほしいもはマクロでみて輸出にまわせるだけの余裕はない。国内でも需要が伸びており、それをまかなうため、生産量が増加傾向の北海道、栃木県、鹿児島県の増強は輸出戦略にとっても重要である。





出典：財務省「貿易統計 品別国別表」より筆者作成。

注：1. 公表されている貿易統計は2025年11月まで。同年12月は含まれていない。

図3 ほしいもの輸入量と輸入金額の推移

東海村にはほしいものを輸出している生産者がおり、2024年には、100gパック5,000個をタイ、香港、シンガポール、アメリカへ輸出している。現地の消費者の反応は良く、甘味とそのおいしさに驚かれるそうだ。しかし、タイなどでは焼き芋とは異なってほしいものを食べる習慣がなく、需要がないと見込まれたため、2025年は自社での輸出はしなかったとのことである。この生産者は2022年に有機JASを取得してオーガニックのほしいものを生産している。オーガニックのほしいものは、農薬使用に厳格な国の消費者に対しては大きな訴求力となるであろう。

最後に、ほしいものの栄養的観点からの輸出の可能性を指摘したい。ほしいものは栄養的に優れており、ビタミンE、ビタミンB群、カリウム、食物繊維、鉄がたくさん含まれており、中でもカリウムと食物繊維が多い。カリウムには体のむくみの解消やナトリウムのとり過ぎによる高血圧を防ぐ働

きがあり、食物繊維には血糖値の急な上昇を防いだり、コレステロールの吸収を抑制してくれたり腸内環境を整えてくれる効果があるといわれている。近年日本に観光に来る外国人が増えていることから、訪日外国人にほしいものを知ってもらって、一口でも食べてもらう機会を増やすことで需要を喚起したい。訪日外国人の旅行中の体調を整えるスーパーフードになりえると考えられることから、産学連携での研究を進めてエビデンスを得るべきではないだろうか。ほしいものを訴求する場所としては、観光地よりもむしろ外国人の団体旅行客が訪れるような寿司店や和食店などの飲食店で、食後のデザートとして個包装されたほしいものを無料で提供してはどうか。ほしいものは常温でも保存ができ、調理なしに手軽に食べることができる携帯食であることから、宿泊施設等へ持ち帰ってもらってもよい。ほしいものは栄養的に秀でているスーパーフードだと知ってもらうことを通じて需要を喚

起し、輸出を展開する素地をつくり、引き合いの契機としていきたい。

#### 参考文献

- 1) 茨城県 (2025)「2024年度茨城県農産物・加工食品の輸出実績」  
(<https://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/eigyoglobal/documents/2506yushutsuzisseki.pdf>)、参照2026-01-21
- 2) 茨城県 (2023)「茨城農業の将来ビジョン」  
(<https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/noseisaku/senryaku/2kaikaku/230525agrivision.html>)、参照2026-01-21
- 3) 茨城県 (2018)「茨城県ほしいも協議会」  
(<https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/sansin/yasai/hoshiimo/hoshiimokyougikai.html>)、参照2026-01-21
- 4) 茨城県 (2026)「全国ほしいもグランプリ2026」  
(<https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/sansin/yasai/hoshiimo/hoshiimogp2026.html>)、参照2026-01-23
- 5) 小林仁他 (2010)『サツマイモ辞典』一般財団法人いも類振興会
- 6) 小林仁他 (2016)『干しいも辞典』一般財団法人いも類振興会
- 7) 財務省 (2025)「貿易統計」(<https://www.customs.go.jp/toukei/info/>)、参照 2026-01-21
- 8) 東海村 (2015)「東海村農業振興計画」  
(<https://www.vill.tokai.ibaraki.jp/soshikikarasagasu/sangyobu/nogyoseisakuka/3/1/1174.html>)、参照2026-01-21
- 9) 農林水産省 (2025)「作物統計」  
(<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/>)、参照2026-01-21
- 10) 農林水産省 (2025)「地理的表示 (GI) 保護制度」  
([https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi\\_act/index.html](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi_act/index.html))、参照2026-01-21
- 11) ひたちなか・東海・那珂ほしいも協議会「ほしいも三ツ星生産者とは」  
(<http://hoshiimo.org/3star>)、参照2026-01-21
- 12) ひたちなか・東海・那珂ほしいも協議会「ほしいも品評会」  
(<http://hoshiimo.org/hinpyokai>)、参照2026-01-21